

大 京都齊  
廉 ヒナ人形  
賣 小道具一式  
玩具行商人  
數名募集

いづや  
二丁目(電六四九)

御案内

松ヶ岡公園に  
春の御仕度は  
是非丸亀に  
春にフサワシイ御  
仕度には三拍子揃  
つた優美丈夫經濟  
な!!  
のセールの御使ひ  
召せ

中野吳服店  
平町三丁目(電話六十七番)

學生カバン  
卸し賣り

最特品五拾錢ヨリ  
一個でも卸賣致します  
玩具、文具、書籍、糸類  
問屋 森下商店  
平町二丁目  
まめや 號

看護婦派出所  
の求めに應ず  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

東 齊昇  
榮光製 ヒナ人形  
特價大賣出し  
品豊富 見やすく 賣やすし  
平町三丁目 加藤提灯店

水光齊  
ヒナ人形小道具一式  
特價大賣出し  
平町二丁目 陳野洋品店

眼樂亭久月  
特製雛人形賣出し  
小道具入用  
三丁目  
金太郎玩具店

ヒナ人形陳列會  
珍形ヒナ人形や  
小道具類は.....  
平町四丁目(電七二二)  
スガノヤ提灯店

新築移轉  
耳鼻咽喉科専門  
場所(舊診療所裏通り)  
合 津 醫 院  
平町仲田町(電話五五九)

生後七ヶ月の男兒  
里子に預け度し  
姓名在社

新菓子「平の櫻」

風味佳良 一箱 廿錢

特約店  
一丁目 金澤菓子店  
二丁目 吉野菓子店  
三丁目 立花菓子店  
四丁目 永野菓子店  
五丁目 柳屋菓子店  
六丁目 マツモト菓子店  
七丁目 伊東菓子店  
八丁目 伊東菓子店

春! 櫻!

花が咲いた!! 花に酒!!  
松ヶ岡の料理 氣持の善い食堂

カフエー松ヶ岡

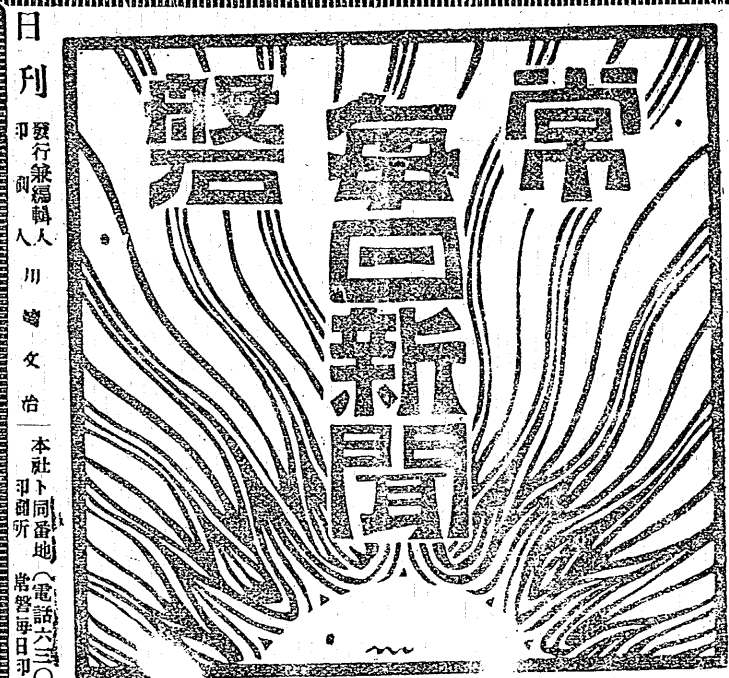
長松屋の出店  
場所は.....第一公園忠魂碑前  
花見の御用命を  
お待ちしております  
団体申込みは特に御相談に應じます

櫻は公園!! 吳服は三井  
春衣新柄特製品宣傳賣出し  
◆お花見手拭 別 染 一本 金八錢  
◆お花見足袋 黒朱子 金拾錢  
白キヤラコ 金貳拾錢  
新館階上階下にはあらゆる春の新柄と  
京人形が陳列されて居りますから  
何卒 御覽下さい  
三井吳服店  
平町 電話(三十八番)  
(七百五十一番)

ユラノスケ瓶詰  
花見大賣出し  
空瓶交換のレツナルなしに  
四合瓶 詰 一本 四十三錢  
二合瓶 詰 一本 二十一錢  
大口の御注文は成り可く前日迄に御申込み下さい  
平町久保町 永山酒造店小賣部  
平町四丁目 出張販賣店  
電話二〇七番

父武義儀病氣中の處養  
生相不叶十五日後五  
時死去致候間此段御通  
知申上候  
追申葬儀は十七日午後三時長橋町自宅出棺  
明賢寺に於て佛葬相營可申候  
四月十六日  
親戚總代 大 高 義 豐

石版印刷物  
電話七五七番  
平驛前 マヤル印刷所



郵政省認可 郵便物種三第  
第一冊 五拾錢  
第二冊 五拾錢  
第三冊 五拾錢  
第四冊 五拾錢  
第五冊 五拾錢  
第六冊 五拾錢  
第七冊 五拾錢  
第八冊 五拾錢  
第九冊 五拾錢  
第十冊 五拾錢  
日刊 五拾錢  
月刊 五百錢  
半年 二千五百錢  
一年 四千五百錢

日刊 發行部編輯人 川崎文治  
本社下町(電話六三〇番)  
印刷所 常盤毎日印刷所

### 縣下三百の請負師

#### 昨日平町を賑はす

諸般の議案を可決して  
谷口樓上に盛宴を張る

既報本縣土木建築請負業組合は昨日午前十一時から平町元那會議室にて第廿回總會を開き二百數十名の組合員參列、丸山慶治氏議長席に着いて左記の議案を異議なく議した

一、明治四十四年大會決議以來の懸案たる地元請負全廢の貫徹を圖る事  
一、工事執行規定第四十五條竣功前に保證人連署を要せざる事に變更せらるる事  
一、補修人夫賃金壹圓貳拾錢にては人夫供給困難に付き値上げられ、事に付き値上げせられ、事  
一、工事執行規定第四十四條中の但書削除せらるる事  
一、公入札の場合に於ける入札保證金を全部百分の三とし契約保證金を百分の五とせられ、事  
一、一般入札に依らざる指名入札競争又は隨意契約に依るものは請負工事に對しては凡て保證金を全免せられたる事  
一、工事内渡の場合に搬入の材料及工事の既成部分に對し十分の九に相當する工費を支給せられたる事  
一、不可抗力に際し工事に損害を蒙りたるときは其全部を補給せられたる事

以上縣に請願する事

是れが縣當局に對する請願委員として丸山慶治、前澤文太郎、左々木健一郎の諸氏其他卅數名を連任し來賓演説に移り中川本縣土木課長、鈴木縣會議員の演説、

### 後任小頭に

#### 酒井氏を任命

平消防組小頭阿部政右衛門氏辭任した爲め伍長酒井清氏に對し本日署に於て猪狩署長から小頭任命の辭令を交附した

### 阿部氏慰安

#### 十九日夜六時

既報町會議員を辭任した阿部政右衛門氏を慰安せんが爲め青沼鋒太郎、井上茂作大森勇其他の諸氏發起となり十九日午後六時か谷口樓に於て慰安會を開く由

### 今年の櫻花は

#### 常よりも早い

#### 寒さ心配なし

古老達は、よく潤の年には寒さが長引くとか又は一時暖かくなつても又俄に寒氣が襲つて來るなどと云つてゐるので農家などは此言を信じて農作物の手加減をやつてゐるが、右に就て小名濱測候所技師は次の如く語つてゐた「昔からよく其や

### 花見酒に泥酔して

#### 汽車の窓から飛降り

#### 湯本トンネルの中で惨死

#### 松ヶ岡公園の歸りに

石城郡湯本町大字湯本字八仙居住田村郡高野村生れ元電工佐藤義美(三七)は昨日友人と共に松ヶ岡公園に花見に來り散々酒を飲んで泥酔し帰宅せんが爲め平驛午後十一時發の臨時列車に乗り込んだが進行途中に下車するに車掌を手古摺らした揚句汽車が傾城トンネルに差掛つた際突然窓硝子を叩いて飛び出し強か支柱に頭を打ち付け其反動で列車に突き當り其儘地面に轉げ落ちて死亡した

半から基督教大講演會を開催する筈であるが講師は左記の通りである

水戸教育牧師中島辰藏、仙台尚綱女學校丸山教諭、土浦教會牧師喜久田廉司、石岡同原田精一、眞壁同庄司惣兵衛、君賀同飯田清太郎

### 青年同盟

#### 四倉劇場で

石城青年同盟會にては會長山崎正策氏が四倉セメントを退職歸郷した爲め會長を辭任したので來る廿二日午後一時より四倉座に於て總會を開き正副會長を決定する由であるが多分會長には

て煮出汁三合五勺、砂糖一匙一杯位、鹽少々を加へて薄味をつけます、これを流し箱の内側に半紙を敷いてその上に一寸位の厚さに流し蒸籠に入れて餘り強くない火で蒸します。十二三分間経ちましたら取り出して直径一寸五分の櫻花の型でぬき出します。型がない時



家庭欄

### 櫻花玉子

玉子五個を井に割り入れてはぐし、箸でよくかまませ

### 櫻見の歸り

#### 綴譯で慥死

石城郡内郷村大字高坂字御殿高坂坑居住平機關庫員中島金一(三七)は十五日午後四時頃平機關庫員の一行に交り松ヶ岡公園にて花見を爲し歸宅せんが爲め綴譯に至り線路上を横切つて北側のホームに上らんとせる際進み來れる下り八百五十三號貨物列車に後頭部其他を轢かれて惨死した

### 待ち焦れる

#### 雛祭り近し

女子供達が指折り數へて待ち焦れてゐる三月のお雛祭りも餘すところ僅に數日綺麗に雛人形を飾つてゐる平町商街の人形屋さんや臨時出張の人形屋さんの店先も日増しに人足を呼んでゐるが某店主は賣れる事は「賣れますよ人形も去年あたりから見れば約二割方安心です」と語つてゐた

には適當の形に切ります。そして器に盛つて次の木の芽あんをかけます。木の芽あんは木の芽少々の葉をつみ、庖丁でこまかに切りおき、煮出汁一合を煮立て砂糖を醬油でほどよい味をつけ、水とさした葛を流し入れて薄ごろの加減にしてさざんだ木の芽を散らします

### 小波お伽全集に就いて

#### 千里閣 巖谷小波

巖谷小波先生は今回過去四十年に亘り随時述作せる金篇玉章を蒐め「小波お伽全集」を豫約出版する事になつた、同全集は十二巻に頒ち毎月一回發行の豫定であつて會費一ヶ月五圓、豫約會員のみに頒ち第一回配本は六月下旬、頒布所は東京市芝區高輪南町千甲閣内小波お伽全集發行會である、因に先生口上左記の如くであつて日本の國寶とも云ふべき先生の全集を千載の後迄も傳ふべく各家庭へお薦めしたい (川崎生)

二十歳の昔から五十九歳の今日まで四十年間藝術に没頭して來た私はその大半を少年文學の爲に盡しました、その大部分は博文館主大橋新太郎君の知遇の下に編輯局の一員として書物や雑誌に筆を執つて居りました。日本昔噺二十四編、日本お

伽噺二十四編、世界お伽新編、世界お伽文庫五十編、小波お伽百話、同新お伽百話、同新編お伽百話等は即ち其間の産物であります。此四十年の間には明治三十三年から三十五年まで獨逸伯林東洋語學院に聘せられて日本語の教授を擔任の傍ら

海外の童話、傳説等を研究して其材料を蒐集して來ました。明治四十年頃には文部省囑託を命ぜられ國定教科書の改訂編纂に約二年間従事して居りました。其後同省の文藝委員、通俗教育調査委員に擧げられ現今は臨時國語調査會委員として國語の整理に當つて居ります。大正五年の六月に秩父宮の御誕辰に際し特に青山の皇子御殿に召されまして東宮殿下、高松宮殿下御同席の御前で二回のお伽口演をお聴かせ申す光榮を得ました。又大正十年は私が此事業を殆ど終つたから恰度三十年祭になりました。お伽三十年祭なるものを催され

貴重な記念品を贈られました。同じく十三年十月同志の人達と謀りましてデンマルクのアンデルゼンの爲に其五十年祭を舉行しましたら此事が遙にデンマルク皇帝に傳へられ、翌年の春其功勞に酬るべくデンネブロッツ等章を贈られたるなど、過分の光榮に浴したものであります。又此二十年以來は時々舌栗毛の名の下に口演旅行を試みまして國內より申すに及ばず臺灣、滿洲、朝鮮進んでは布哇の島までも殆ど廻り盡したのであります。此間何等蹉跌もなく來られませぬ。皆大方諸君の御愛顧の致す所と深く感謝致す他はありませぬ。然るどころ此度一身上の都合によりまして博文館編

輯局を離れることになりましが獨餘生を斯道に委ねまして可憐なる小國民諸君の爲に一層奮勵致し度いと云ふのが相變らす私の本意なのであります。付ては過去四十年間の作品を此際更に整理致しまして別に新しい創作をも加へ一種の全集體として置く愛誦の用に供し度いと思ひます。しかもこれは何等書肆の手を煩はさず只同好の士の援助を得て所謂自費出版の方法によるのです。かかる事は其の不馴な私事には多少の不安も感じないではありません。其邊は多年の御馴染甲斐に私の微志を御諒察下さいまして特別の御愛顧の下に此貧弱なる事業の成功を致しませうと願ひます。お願申す次第であります